

あだち 教育 だより

発行日

平成 26 年 12 月 17 日

発行

足立区教育委員会

編集

教育政策課

NO.

60

vegetable

三つ子の食育

ひゃく

百まで!?

「小さいころから野菜に親しみ、野菜を食べる習慣をつけてもらいたい」という思いから、上沼田保育園では野菜の種をまき、大事に育て、収穫して食べる食育を大切にしています。

収穫した野菜を目の前で見たり、触ったり、匂いをかいだり、切ったりしました。「自分で育てた野菜っていつもよりもおいしい!」「野菜大好き!」と保育室でホットプレートを使って調理したきんぴらごぼうは、おかわりの連続でした。

小さいころからの食習慣は、その後の健康や発育に大きく影響します。ご家庭でも食事にバランスよく野菜を取り入れましょう。

野菜の3つの才能

その1 体の調子を整える



野菜に含まれる食物繊維は便秘や大腸がんを防ぎ、ビタミン、ミネラルは身体の調子を整える機能を持っています。

その2 野菜から食べて生活習慣病予防



野菜から食べることで血糖値の急激な上昇を抑えられ、糖尿病をはじめとした生活習慣病の予防に役立ちます。

その3 集中力・記憶力がUP!!

野菜は歯ごたえのあるものが多いので、よくかんで食べることで脳の血流が増加し、脳を活性化させ、集中力や記憶力を高めます。



何回かめているか測る装置「かみかみセンサー」を体験して楽しく学ぶ取り組みもしています。一口30回かむことを目標にしましょう！

野菜が足りません。足立区民一人が1日に食べる野菜の推定摂取量は、区の調査によると254gで、国の目標値350gに約100g不足しています。そのためか足立区は糖尿病など生活習慣病の人が多く、健康寿命も都平均より約2歳短くなっています。野菜には将来の生活習慣病を防ぐなど左記の3つの「才能」があり、積極的に食べる習慣をつけることが大切です。そのために学校給食では、「野菜の日」給食や「かむカムデー」の取り組みを行っています。
ご家庭でもできることから始めてください。

野菜の菜は才能の才!?



問合せ先

◆野菜の3つの才能とかみかみセンサー
◆栄養士のひと工夫と出前授業

こころとからだの健康づくり課
学務課

健康づくり係
おいしい給食担当

☎ 3880-5433
☎ 3880-5427

活動紹介



うめじま お弁当コンクール

開かれた 学校づくり協議会

はぎわられお
校長賞の萩原玲央さんの
和洋折衷栄養満点弁当



“食”について学ぶことは、“生き方”を学ぶこと。梅島小学校開かれた学校づくり協議会は、子どもたちが望ましい食習慣を身につけることを目標として毎年「うめじまお弁当コンクール」を行っています。

食育の授業を受けた上で、夏休みに1～4年生は自由参加、5～6年生は全員で、栄養バランスの取れたお弁当をテーマに考えます。投票により最優秀である校長賞を受賞した作品は給食となります。今年度、校長賞を受賞した6年生の萩原玲央さんは、「校長賞をいただけて嬉しいです。火を通すものが多くて難しかったけれど、家の人と一緒に楽しく作れました。また作りたいです」と語りました。

“食”は私たちの体と心を育む基本です。子どもたちは、このコンクールを通じて改めて“食”の大切さを感じ取ることができたのではないのでしょうか。



小松菜農家の出前授業

学校給食に納品していただいている区内の小松菜農家の宇佐美さんが、東加平小学校で小松菜についてのお話をしてくれました。実際に種を並べて見せ、季節ごとに品種を変えることや、紙芝居で名前の由来を説明するなど、野菜を身近に感じてもらえる授業が行われました。



栄養士さんの 野菜を取る ひと工夫



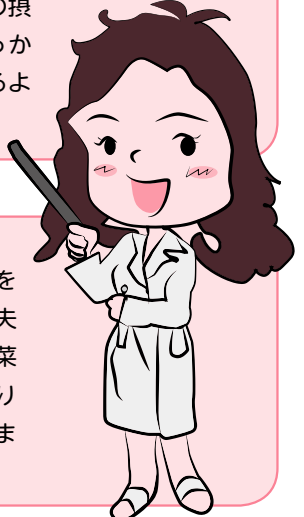
入谷中学校
吉澤栄養士に
聞きました。

給食で

「子どもたちに野菜をたくさん食べてもらうためには、美味しくなくてはならない」。そう考えて、小松菜の他にも新鮮で美味しい、いろいろな野菜を作っている舎人の「大熊農園」さんから地場野菜を仕入れるようにしました。加えて生徒好みの旨みがある味付けを心掛けています。給食では塩分の摂取量が決められているため、“だし”をしっかり利かせて、薄味でもおいしく食べられるように工夫しています。

家庭で

昼食と夕食だけで、1日に350gの野菜を取るの大変です。そのため、朝食での工夫がポイントになります。朝食の味噌汁に野菜をたくさん入れたり、きんぴらごぼうや切り干し大根などの常備菜を作ったりしておきましょう。



何が何でも基礎学力!

今、足立区教育委員会が最も力を入れて取り組んでいるのは「基礎学力の定着」です。0～15歳までの切れ目のない教育を通じて、すべての子どもたちが四則計算や漢字の読み書きを中心に基本的な学力を身につけ中学校から羽ばたいていく。それが足立区の「たくましく生き抜く力を育む」教育の基本です。今回はさまざまな取り組みの中から一部をピックアップしてご紹介します。

合宿 ある日のスケジュール

- 6:30 起床
- 7:00～ 朝礼/体操
- 7:30～ 朝食
- 8:30～ 各部屋の整理整頓
- 9:00～ 授業①
- 10:00～ 授業②
- 11:00～ 授業③
- 12:00～ 昼食
- 12:50～ 休憩
- 13:30～ 個別学習①
- 14:40～ 個別学習②
- 15:40～ レクリエーション
- 16:40～ 自由時間/入浴時間
- 18:00～ 夕食
- 18:50～ 自由時間
- 19:50～ 自習
- 21:30～ 就寝準備
- 22:00 消灯



1日に
約7時間
の
学習時間

「頑張った」が自信になる!
中1夏季勉強合宿(数学)

昨年始まった中1夏季勉強合宿。今年の8月に4泊5日の日程で小学校時代の算数のつまづきを克服したい生徒171名と先生281名、総勢452名が参加しました。中1の夏に数学の弱点を解消し、今後の学習につなげていくことを目的に、小・中学校の先生が生徒と一緒に泊まり込み、マンツーマンによる徹底した個別指導が行われました。

厳しい合宿生活乗り越えた経験は、参加した生徒や先生にとってかけがえのないものとなりました。

最終日のテストで、ほとんどの生徒が合宿前と比べて目を見張るほど点数が上がりました。アンケートでは「数学が好きになった」「これからは自分で進んで勉強する」と苦手を自信に変えた生徒も見られました。

また、先生からは「マンツーマンで

マンでの個別指導でめきめき力をつけていく生徒を見て、大きな効果があると感じた」「生徒の『分かった』の声を聞いたり、皆さんの笑顔を見ることができた」などの声が聞かれ、授業力アップに役立つ貴重な経験となったこともうかがえます。

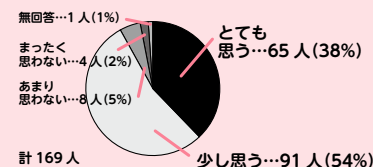
合宿が終わった後も日常の授業を通じて参加生徒のフォローを続け、参加教員の経験を生かしてすべての生徒たちの「分かった!」を後押ししていきます。



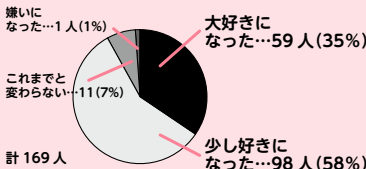
マンツーマンでみんなに「分かった!」を

勉強合宿後のアンケート

これからは進んで数学を勉強すると思いますか



数学が好きになりましたか



特殊音節に焦点をあてた指導方法

動いてわかる!

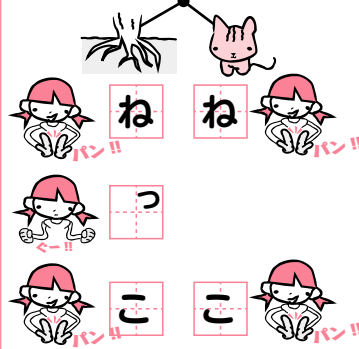
つまずきやすい

特殊音節

促音

「っ」

どちらがうかな?



発音するときに「ねこ」と「ねっこ」の区別が難しい子のために、動作を取り入れた指導をします。

「ねこ」のときは手を2回打って「ねこ」、「ねっこ」のときは「っ」のときに手をグーにするというルールを決め、手の動きとあわせて「ねっこ」と発音する練習をします。

視覚、聴覚、動作など多感覚に働きかけることで子どもは学びやすく、理解しやすくなります。

5月頃～7月頃

一斉指導(国語の授業)

- ルール(動作化)の確認

9月頃～

一斉指導(国語の授業)

- ルールの再確認
- グループ学習

10月頃～

個別指導(授業以外)

- ルールの再確認
- ゲーム的要素 (例) かるた 早口言葉

正確かつ、なめらかに読む
「読み名人」に!!!

※MIM(MIM)…Multilayer Instruction Modelの頭文字をとったもので日本語訳は多層指導モデル

先生も日々勉強しています!

日々勉強に励んでいるのは子どもばかりではありません。より子どもに分かりやすい授業をしたいという思いから、先生も定期的に集まり研修会を開催しています。

10月15日には、千寿青葉中学校において中学校の先生に加えて小学校の先生も参加し、中学校での授業の様子や課題を学ぶ研究授業が行われました。授業を行った千寿青葉中学校の山本先生は、「小学校で学んだ内容がどう発展して中学校で教えられているのか、どの部分が中学校でつまずきやすいのかを知り、小学校での授業の参考にしてもらいたい」と思いを語ります。

また、研修会で他校の先生からアドバイスをもらった発問の仕方を実際の授業に取り入れたところ、子どもたちの反応に目に見えて変化が表れているそうです。先生も互いに切磋琢磨を繰り返しながら、子どもの基礎学力の定着のために努力しています。



授業を行う千寿青葉中学校の山本先生



授業を熱心に見る先生

「元気に学校に通いたい!!」 そのはじめての一步を チャレンジ学級で!



私たちが
チャレンジ学級
西新井教室の
担当です

私たちが綾瀬教室の担当です!

卒業生の 保護者の声

中学3年生の娘が、突然「学校に行かない、高校も行かない」と言い出し、理由もよく分からず、親としてとまどう日々が続きました。しかし、チャレンジ学級に通うようになってから、娘が前向きな気持ちを持てるようになり、早寝早起きを心がけたり、家庭学習をするようになってたりと、小さな変化が見られるようになりました。こうした毎日の積み重ねで、高校進学に向けて一步一步進んでいくことができました。現在は、高校に休まず通い、保育士の夢に向かって毎日頑張っています。

生徒の体験談

集団生活は久しぶりで、はじめは緊張したけれど、みんなと卓球などのゲームや校外学習などの行事を通して親しくなり、だんだん楽しくなってきました。学校の先生は、まめに連絡をしてくれて、僕の頑張りを応援してくれたので、徐々に自信もついてきました。3年生への進級をきっかけに、また学校に通うことができました。



学校と同じような環境のチャレンジ学級教室

「チャレンジ学級に通うのも教育相談に行くのもはじめはすごく勇気がいりました。」
利用者の大半はそう言います。さまざまな理由で学校に行けない小学生・中学生がまた元気に学校に通えるようにサポートするのがチャレンジ学級です。午前中は、習熟度に応じた各教科の個別学習をし、午後は、工作や体育などのグループ活動をみんなで取り組みます。
「将来のために一步を踏み出したい…」
お子さんの前向きな気持ちを応援しています。学校またはこども支援センターげんきにお問合わせください。

小・中学校の最終応募状況 ～学校選択制度～

区立小・中学校の学校選択制度は、平成14年度新入学生から開始しました。この制度は、学区の学校への入学を原則としつつ、学区外の学校についても入学を希望できるものです。平成27年度に区立小・中学校へ入学を希望する新1年生について、各校の最終応募状況は表のとおりです。学校規模や教室数など、受入の可能性を十分に検討しましたが、綾瀬小学校、梅島小学校、栗原小学校、古千谷小学校、千寿第八小学校、千寿双葉小学校、千寿本町小学校、西新井小学校、第四中学校、第七中学校、第十四中学校、千寿桜堤中学校、西新井中学校、谷中中学校の14校が抽選を実施することになりました。なお、抽選校以外を希望された方は、全員希望校へ入学できます。

■小学校

No.	学校名	受入可能人数	最終応募人数	うち学区内人数
1	青井小	65	54	48
2	足立小※	100	105	81
3	足立入谷小	65	41	38
4	綾瀬小	135	154	122
5	伊興小	100	94	84
6	梅島小	100	111	80
7	梅島第一小	65	44	39
8	梅島第二小	65	63	57
9	桜花小※	65	73	64
10	扇小	65	59	44
11	大谷田小	65	46	42
12	興本小	100	77	40
13	加平小	100	90	40
14	亀田小	135	127	118
15	北三谷小	100	95	54
16	北鹿浜小	65	49	41
17	栗島小	100	88	82
18	栗原小	65	68	57
19	栗原北小	100	83	54
20	弘道小	65	46	39
21	弘道第一小	65	60	40
22	江北小	65	51	45
23	高野小	65	53	34
24	古千谷小	100	109	79
25	皿沼小	65	45	40
26	鹿浜第一小※	100	101	73
27	鹿浜西小	65	29	26
28	島根小	100	84	64
29	新田小	275	271	267
30	関原小※	65	68	53
31	千寿小	100	85	71
32	千寿桜小	100	68	58
33	千寿常東小※	100	101	80
34	千寿第八小	100	113	107
35	千寿双葉小	65	74	65

□ = 抽選校 ※ = 凍結校

◆この表には、転出予定者や国・都・私立学校入学希望者なども含まれます。

◆足立小学校、桜花小学校、鹿浜第一小学校、関原小学校、千寿常東小学校、花保小学校、東伊興小学校、鹿浜五色桜小学校、第五中学校、第六中学校、第九中学校、第十中学校、第十三中学校、伊興中学校、扇中学校、新田中学校、千寿青葉中学校、淵江中学校、六月中学校は、最終集計時以降の希望者の入学を制限していきます(凍結校)。ただし、3月2日現在の欠員の状況によって、凍結を解除することもあります。

■中学校

No.	学校名	受入可能人数	最終応募人数	うち学区内人数
36	千寿本町小	65	89	65
37	竹の塚小	65	65	33
38	辰沼小	100	89	62
39	寺地小	65	54	49
40	舎人小	100	76	55
41	舎人第一小	100	86	58
42	中川小	100	97	63
43	中川北小	100	85	63
44	中川東小	65	51	46
45	中島根小	100	89	54
46	長門小	65	53	43
47	西新井小	100	109	66
48	西新井第一小	100	79	62
49	西新井第二小	65	52	37
50	西伊興小	100	83	59
51	西保木間小	65	55	51
52	花畑小	65	42	33
53	花畑第一小	65	55	44
54	花畑西小	100	73	29
55	花保小※	100	100	79
56	東綾瀬小	100	86	69
57	東伊興小※	100	105	84
58	東加平小	100	89	78
59	東栗原小	100	67	49
60	東淵江小	135	115	106
61	平野小	100	64	53
62	淵江小	100	78	52
63	淵江第一小	135	107	84
64	保木間小	100	67	51
65	宮城小	100	88	88
66	六木小	100	83	72
67	本木小	100	73	57
68	弥生小	100	93	61
平成27年度統合新校				
70	鹿浜五色桜小※	65	65	46

No.	学校名	受入可能人数	最終応募人数	うち学区内人数
1	第一中	130	81	62
2	第四中	200	413	120
3	第五中※	95	104	63
4	第六中※	95	114	78
5	第七中	130	168	72
6	第八中	95	75	40
7	第九中※	200	184	114
8	第十中※	165	163	121
9	第十一中	235	224	121
10	第十二中	165	157	125
11	第十三中※	200	196	159
12	第十四中	270	442	218
13	青井中	95	39	35
14	伊興中※	200	186	154
15	入谷中	95	38	33
16	入谷南中	130	101	59
17	扇中※	95	103	92
18	加賀中	95	84	71
19	蒲原中	200	187	166
20	上沼田中	60	32	18
21	栗島中	95	81	50
22	江南中	60	43	40
23	江北中	95	71	33
24	鹿浜中	95	74	51
25	新田中※	95	120	116
26	千寿青葉中※	130	154	114
27	千寿桜堤中	165	402	157
28	竹の塚中	95	77	65
29	西新井中	200	248	140
30	花畑中	95	30	25
31	花畑北中	95	67	57
32	花保中	95	67	53
33	東綾瀬中	200	224	174
34	東島根中	130	81	64
35	淵江中※	235	246	134
36	谷中中	165	227	168
37	六月中※	200	206	118

教育委員会の活動

◆動き

(平成26年7月から平成26年10月)

教育委員会には定例会4回の開催を通じて37件の議案が付議され、審議の結果すべて可決されました。

《主な議案》

*平成27年度足立区立小学校使用教科用図書の採択について

*足立区立小学校及び中学校の通学区に関する規則の一部を改正する規則

*足立区子ども・子育て支援法施行細則

◆会議の傍聴

会議は傍聴することができます。希望される方はお問合わせください。

教育委員会の活動

7月 教育委員協議会

7月 スクールソーシャルワーカー活動視察(大阪府堺市)

8月 教育委員協議会

8月 青少年問題協議会(教育委員長)

9月 教育委員協議会(2回)

9月 足立区議会定例会出席(教育委員長)

10月 小学校長会教育懇談会

10月 教育委員協議会

ありがとうございます 足立区育英資金寄附金

- 中村 政信様
- (社)倫理研究所家庭倫理の会足立区様
- 小路 功様
- 東京土建一般労働組合足立支部様
- ワールドスポーツボクシングジム 会長 齊田竜也様
- 石川 義夫様
- (公社)足立法人会 青年部会二同様 匿名 4名

問合せ先

- ◆小・中学校の最終応募状況
- ◆足立区育英資金寄附金
- ◆教育委員会の活動

学務課
学務課
教育政策課

就学係
助成係
庶務係

☎ 3880-5969
☎ 3880-5977
☎ 3880-5961

第44回全日本中学校 バレーボール 選手権大会 全国優勝!!

瀏江中学校
史上初

瀏江中学校男子バレーボール部



「優勝の瞬間、涙が止まらなかった」。初の全国制覇を果たした時の喜びを、堀キャプテンはそう語ってくれました。それもそのはず。一昨年ベスト16、昨年ベスト3の先輩たちから思いを託された、日々の厳しい練習に耐え抜いた末の、悲願の優勝だったからです。

瀏江中の強さの秘訣は練習。その努力は日本一と日笠監督も堀キャプテンも断言します。休みは年末年始の4日間だけという厳しい練習にも脱落者はゼロ。そんな彼らを支えたのは、固い団結力でした。全員が最後までやり抜く強い気持ちを持ち、加えて卒業生が練習を指導。つらい時には電話や時に家まで行って相談に乗って励ましたりと、卒業後も強い絆があります。

新キャプテンの高倉さんは「先輩たちが勝ち取った優勝旗と優勝杯を必ずチーム全員で全国まで届け、入場の先頭を堂々と行進したい」と語ります。瀏江中バレー部の伝統は着実に育っています。

試合終了10秒前の一蹴り。それは、3人にとってこの大会で最も印象に残るシーンとなりました。準決勝3人目リードを許した大将の小林さんが劣勢を挽回し、劇的な逆転勝利を手にした瞬間でした。

「数々の国際大会で養った勝負強さと、自分までつないでくれた今井さんと福島さんに報いたいという気持ちが土壇場で技を決める力となったのだろ

う」と顧問の高橋先生は振り返ります。3年生の小林さんは、「体格的にハンドのある上級生の対戦相手によく向かって行った」と後輩たちの攻めの姿勢を褒め称えました。

今井さんと福島さんは来年の四中空手部の目標を、「優勝」と意気込み、それに対し小林さんは、「全国優勝にとどまらず全日本のチーム入りを果たし世界での活躍を」と激励。さらなる高みをめざします。

すごいね！ あだちの 子どもたち

VOL.13



- ①堀 夏央哉さん / ②吉田 公平さん / ③北川 諒さん /
- ④小田島 拓也さん / ⑤田中 海藍さん / ⑥高倉 真古都さん /
- ⑦大洞 樹さん / ⑧飯塚 達哉さん / ⑨本多 力さん /
- ⑩竹沢 惇之介さん / ⑪長村 一輝さん /
- ⑫中村 一斗さん /
- ⑬安田 裕太さん



第22回 全国中学校 空手道 選手権大会 準優勝

第四中学校空手部



二人で大将小林さんを送り出す。

教育政策課 教育政策担当
問合せ先 ☎ 3880-5962

「あだち教育だより」にご意見・ご感想をお寄せください。
足立区教育委員会事務局 教育政策課 ☎ 3880-5962 E-mail : k-seisaku@city.adachi.tokyo.jp

「美しいまち」は「安全なまち」
ビューティフル・ウィンドウズ運動員仲間

